

平成29年度事業計画（案）

（自平成29年4月1日～至平成30年3月31日）

《スローガン》

すべては愛する小浜のために

《基本方針》

いよいよ平成29年度が始まります。会長という大役を務めるにあたり、たくさんのメンバーのトップとして責任と自覚を持って臨んで参ります。

スローガンは、「すべては愛する小浜のために」。

皆さんは日々の仕事、家庭生活、地域の役割など様々な立場でその要として活動されていることと思います。仕事では会社、社員のために。家庭では柱として、また良き父、母として。そして地域社会では各種団体の中心的存在として。その活動が地域を支えることにつながっていると私は考えます。

我々YEGの役割も、地域の直面している課題や問題解決に取り組み、広い見識を持って様々な活動に積極的にかかわっていくことが「地域を支えること」であると考えます。

私自身YEGとしての活動を通じ、「地域を支えること」に対する責任感を深く自覚するようになり、本年度のスローガンを「すべては愛する小浜のために」として活動を進めてまいる所存です。

しかしYEGは会社の協力があって参加できるものであり、また家族の理解があって活動できるものです。皆さんが今この立場でこの会に参加されているのも、たくさんの協力があったことです。そのことに感謝して、このYEGで学んだこと、経験していることを少しでも会社の発展に、子供たちの明るい未来のために繋げていって欲しいと考えております。

各人、人生への思いはそれぞれだと思えます。しかし共通して目指すものは会社の発展、地域の発展、家族の明るい未来ではないでしょうか。

このYEG活動を通してそれらの目標に少しでも近づき、達成していくことを目指していきましょう。そして、行動こそ時代を先駆けるべき青年の責務と信じ、力を合わせ、まずは小浜の礎となりましょう。

《運営方針》

- 1、総務、研修、絆・親睦、祭・交流の4委員会で運営する
- 2、30周年宣言に基づいた事業を運営する
- 3、自己研鑽できる事業を運営する
- 4、会員間の親睦、家族との交流事業を運営する
- 5、他単会、近隣市町や各種団体との交流を行う
- 6、人材育成のための会員開発、積極的な会員拡大を図る

《委員会方針》

総務委員会 委員長 岡 法明

総務委員会では、愛する小浜、家族をテーマとした総会や例会を企画し、会員間の親睦を深められるような活動を行います。また、委員会活動ではメリハリを大切にした運営をします。

- ①年2回の総会を適正に運営します。
- ②愛する小浜の為に、過去を知り、未来を見据えて、YEGとして今をどうするかを考える例会を企画・運営します。
- ③会員と家族間の親睦が図れるような例会を企画・運営します。

研修委員会 委員長 井上 賀雄

研修委員会は、担当例会を通じて愛する小浜のために貢献していきます。また、委員会メンバーが一年後に組織人として、YEGメンバーとして成長を実感できる委員会にします。

- ①委員会メンバーが自覚と責任を持つ事になるように委員会運営を行います。
- ②見識を広め、今までとは違った視点で物事を捉えるような例会を企画・運営します。
- ③将来の小浜、未来を見据えた創造的な例会の企画・運営をします。

絆・親睦委員会 委員長 上田 真成

絆・親睦委員会では、様々なご縁を大切にし、会員同士の交流を深め、コミュニケーション能力の向上を図り、個人または組織の成長を促す例会を企画・運営します。また、楽しく、皆が参加しやすい委員会運営をしていきます。

- ①他単会との絆を深める例会を企画・運営します。
- ②新たな発見、気づきを得られる例会を企画・運営します。
- ③平成32年に開催される福井県での全国大会を見据え、1人でも多くの会員が全国大会へ参加できる例会を企画・運営します。

祭・交流委員会 委員長 山本 聡

祭・交流委員会では各会員や家族との交流を通して団結力を高め、絆を深め、達成感と成長を感じる熱い例会を開催します。委員会では、YEG会員としての自覚を持ち、委員会への参加率を上げ特に若手の成長に繋がる運営を行っていきます。

- ①一致団結して世界記録に挑戦するYEGPICを企画・運営します。
- ②各会員と会員家族が交流出来る例会を企画・運営します。
- ③会員の成長に繋がる交流例会を企画・運営します。